

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより

からうら

No. 34

2006.1.30発行

横小プール
補修費を可決

新議長に森 健議員

- ② 重油高騰
ミカンハウスに補助金 — ④
- ③ 7議員町の考えをただす
気が向いたら好きな編み物も — ⑫



6万4千円を追加

45億 1,550万6千円に

12月定例会

補正の主なもの

総務費 (ホームページ開設)	1,000万円
民生費 (老人保健繰出金)	984万円
衛生費 (じんあい処理費)	778万円
教育費 (横小プール補修)	775万円
災害復旧費 (土木施設)	2,227万円

平成16年度決算を認定

9月定例会で総務産建常任委員会に付託し審議された各会計決算を委員長から結果報告を受け認定しました。

各課への主な指摘事項

- 総務課** 効率的な財政運営に努めること。
防災意識の高揚を図ること。
- 税務課** 町税等の未収は滞納整理機構を活用し徴収に努めること。
- 住民課** 簡易水道の町営化早期実現に努めること。
クリーンセンター、今後の管理運営についての対応を考えること。
- 福祉課** 子育て支援のなお一層の充実に努めること。
- 産業振興課** 中山間地域直接支払い制度の改正に伴う適切な指導に努めること。
- 建設課** 町道改良等の予算増額と出役等での取り組みを検討すること。
- 勝浦病院** 外壁塗装の予算執行を適切に行うこと。

横瀬小学校プール補修費などを可決

十二月定例会は、八日から二十六日までの十九日間開かれました。職員の給与に関する条例、収入役を置かない条例の一部改正と一般会計、特別会計の補正予算を審議し、全会一致で可決しました。また、平成十六年度決算の認定、教育委員会委員の任命同意も行いました。一般質問は七議員が、町の考えをただしました。

7,22

予算総額



▲今年度中に補修される横瀬小学校プール

第三回臨時会

新議長に

森健議員を選出

十月三十一日に開き、勝浦町・上勝町情報通信基盤整備事業工事請負契約の締結と、議長辞職とそれに伴う議長の選挙を行いました。

◎ 情報通信基盤整備事業は、五億九千三百八十五万九千円で四電エンジニアリング株式会社と請負契約を締結しました。

◎ 国清栄議長が一身上の理由で辞職し、議長の選挙が行われました。
投票の結果、森健議員八票、白票三票で森健議員が第三十七代議長に就任しました。



森健 議長

このたび、多くの議員のご推挙により議長に就任いたしました。
少数意見にも配慮し、円満な議会運営を行い、住民の負託にこたえていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

いあいさつ

教育委員会委員

山路幸治氏(今山)
稲井稔氏(横瀬)
の任命に同意しました。

教育長に稲井稔氏が就任

川口町長が退任



三期、十二年間務められた川口幸一町長が、二月四日に退任されます。

新町長に中田丑五郎氏



一月十七日に告示された町長選挙で、中田丑五郎前助役が、無投票で次期町長に当選しました。初登庁は二月六日です。

重油高騰 ミカンハウスに 補助金

産業振興課長から 重油高騰対策としてミカンハウスの三重張りに、県四割、町一割の補助を二年間実施すると説明がありました。

参事から 行財政改革推進プラン実施計画について説明がありました。

問 保育所の民営化を検討するのはどうしてか。

答 参事 国からの補助金が一般財源に含まれるようになり財政的に厳しくなっている。

民間は補助金があり、民営化している自治体の例を見ると一時預かりなどサービスもよい。平成二十年を目標に民営化したい。

行財政改革推進プランは、全員協議会で審議するよう申し入れました。

付託されていた「星谷猪畜谷土砂崩壊災害対策工事」の陳情書については、町の財源を投入しない事を条件に採択することにしました。



▶ミカンハウスの三重張りに補助金

委員会ハイライト

ごみ処理 来年度 一部民間委託も

住民課長から クリーンセンターの焼却能力が落ちていいる。五七程度のごみを焼くのに早朝から夜の九時ごろになる事もあり、職員の残業や重油代の補正予算が必要と説明がありました。

問 毎年オーバーホールをしているのに能力が低下するのはおかしいのではなにか。

答 住民課長 業者に検査してもらい結果を待っている。

生ごみの水切りや、コンポスターの利用を住民に協力願いたい。また、来年度は一部民間委託も考えている。

ごみ処理費を縮減する抜本的な方策として、民間委託や広域での焼却等を検討するよう申し入れました。

国勢調査の結果が報告され、平成十二年から四百三十二人減少して六千三百四人になり、来年度以降の交付税に影響してくるとの説明がありました。



▶コンポスターの利用を

行財政改革推進プラン

補助金交付団体の

評価は適正か

中西晴美 議員



問

補助金見直しの評価表の中で、井戸端塾を継続すべきBランクにして、商工会や果樹研究会など住民に直結する団体を、事業内容を検討すべきCランクに位置づけている。修正すべきだ。

答 戸川参事

このランク付けは各団体を否定するものではない。住民の理解を得ながら、より分かり易い改革を進めていきたい。

みかん産業の

救済措置を

問

基幹産業であるみかんの収入向上なくして町の財政改革はできない。必要経費が次第に高くなっているの、ある程度の救済措置を検討すべきでは。

答 国清産業振興課長

重油の高騰によりハウスマシカンは非常に苦しくなっている。県単の補助があり、町単も合わせて取り組んでいる。みかんに対してはその他いろいろな補助金や施策を展開している。

商工業の振興を

問

町内の商業は販売不振から大変な苦境に立たされている。商品券に補助金を出したのは適切であつたので続けるべきだ。また、企業誘致や町内工業の育成も積極的に進めるべきだ。

答 国清産業振興課長

商工会も商品券ばかりに頼らず、都市との交流にもかかわらず、都市との交流にもかかわらず、企業誘致は、不況から脱却していない現状で、本町のような山間地へは難しい。

中田助役の行動は

許せない

問

町長の進退が明確でない時点で、補佐役である助役が辞表を提出したことは信義に反する行為で許すことができない。町長はどう思っているか。

答 町長

いろいろな事情があると思う。厳しい行財政改革の中で収入役まで兼務してもらい、一生懸命やってくれたことに心から感謝している。

町長は次期も立候補すべきだ

問

町長は多くの住民の要望にこたえ、今度の町長選にも立候補すべきだ。

答 町長

人間惜しまれるうちが花、男としてのけじめをつけた。長年協力頂いた皆様に心から感謝したい。



▲保育所の民間委託は慎重に

行財政改革推進プラン

住民の理解が必要

広報等で広く知らせる（参事）

大西 一司 議員

会等で集中審議しながら進めていく。



ごみ処理対策
東部一ブロック
見直しが必要では

東部一ブロックは平成十三年に基本計画

が作成されているが、現在の進展もない。根本的な見直しを行い、徳島市または小松島市との協議を進めようか。

今の状況は次第に難しくな

っている。徳島市は現在、改築計画を進めているが、まだ協議する段階ではない。今は広域的な取り組みを進めていく。

問

今後の改革の中心は、協働型社会への移行と町行財政システムの再構築だが、直接住民と結びつくものも多く、住民の理解が必要不可欠だ。どの様な手順で進めるのか。

答 戸川参事

国、県の集中改革プランと平行して、広報等で広く町民に知らせる。予算については、所管の委員



▲消防団と共に自主防災組織の強化を

防災対策
全町に自主防災
組織の結成を

積極的に取り組む（参事）

防災対策室等を設置し、全地区に自主防災組織を結成して、一斉に防災訓練ができるよう計画を進めるべきだ。

問

防災対策室等を設置し、全地区に自主防災組織を結成して、一斉に防災訓練ができるよう計画を進めるべきだ。

答 戸川参事

自主防災組織は七地区で整備されているが、全地区に結成できるように指導していきたい。また、専門の係を置いて全体的な防災マニュアルを作るなど、積極的に取り組んでいきたい。

教育長の
後任を早く

後任を早く

問

教育長が退任したが十一月から一月にかけては教員の異動等で最も重要な時期だ。後任の見通しは。

答 町長

現在、調整中であると思う。

県単急傾斜事業
受益者負担増に
対策を

問

県は十八年度から受益者負担を現在の三十%から五十%に増やす予定だ。その分を町が肩代わりできないか。また、現在の申し込み状況は。

答 島建設課長

町の負担については、厳しい財政事情で難しい。申込件数は二十五件で全部執行するには十五年度位かかる。今後は採択基準も厳しくなると思う。

子供の安全を守れ

安全推進委員会を設立

(教育委員会事務局長)

福徳重二議員



答 秋成教育委員会事務局長

小・中学校へは通学路の要注意箇所との把握と「子供一〇番の家」の見直し等を指示、保護者には子供の安全確保について通知した。

問 子供が連れ去られ殺害される事件が全国で数件発生している。教育委員会や学校の対応は。また、坂本地区の児童が使用しているスクールバスを全町で利用することを検討しては。

また、子供を守る一〇番の家、子供をパトロールを二学期から実施しており、十二月二十六日には、地域ぐるみで子供を守るため、勝浦町子供の安全推進委員会を設立することになっている。通学バス利用についても検討の時期に来ていると思う。

個人住宅

耐震診断の状況は

問

町内で十戸を対象に住宅の耐震診断を募っていたが、現在の状況は。

答

山平住民課長の十戸の耐

震診断が終わり、現在、改修について協議中である。



▲子供を守る110番の車 二学期からパトロール中

勝浦高校実習園

跡地利用は計画通り進めるのか

問

実習園跡地に桜を植える計画に対して、沼江地区から説明会開催の要望書が出されているが、計画通りに進めるのか。

答 戸川参事

都市と農村の交流

や、地元の憩いの場として桜を植え、石原地区の方に管理運営を委託する方向で考えている。

沼江地区十三人の連名で要望書が出されているが、隣同士の地区なのでお互いに話し合い、進めてもらいたいと思っている。沼江地区へは、十分説明をして理解を得る努力をしたい。

CATV事業

テレビだけの加入を

認めては

インターネットが基本のため
できない(参事)



原田昭三議員

問 二〇一一年からテレビ放送がアナログからデジタルに変わる。勝浦上勝で進めているCATV事業の加入について、インターネットを必要としない老人や低所得者にとって、加入金や使用料は大きな負担となる。テレビだけの加入を認めても良いのでは。

答 戸川参事 インターネットが主体の補助事業であり、テレビと別々の契約はできない。

業者に有利な
契約内容だ

問 運営会社「NTTネオマイト」の利用規約の中で、IP電話は選挙に利用してはならないとなっている。また、維持補修費が五百二十五円とのことであるが五年間は保証期間があるので必要ないのではないか。全体的にこの規約は運営会社の作成で業者有利になっていると思うが。

答 戸川参事 インターネットは選挙運動に使用できないが、IP電話については使用しても問題はない。補修費は契約の中で向こう十年間保守点検や故障など、維持補修的なものとして使用料に含まれている。



▲介護保険一部改正の影響は

介護保険 一部改正の影響は

所得に応じて負担は
軽くなる(福祉課長)

問 介護保険の一部改正で食事代と居住費が自己負担となったが、入所者に影響は。

答 光井福祉課長 介護保険法が改正され十七年十月から翌年十月までの間、段階的に施行される。低所得者に対する配慮として、所得に応じて負担が軽くなっている。

地籍調査

現況と公図の違いに

どう対応

西浜勝己 議員



決していきたい。お互い知恵を出し合い、歩みよっていかなければならない。

どうなっている 県の立会

問

棚野の車田と西久保地区は、昭和二十五年のジェーン台風で堤防が決壊し、被害を受けた所である。官民や民民の境界で現況と公図が一致しない所が多くあるが、どう対応するのか。

答 島建設課長

官民の境界については公図に基づいて実施していくが、払い下げや用途廃止の手続きをして解

問

県は今年になって突然、堤外地は立会しないとやってきた。堤外には多くの民有地があり、地元住民は県の方針に納得していない。対応は。

答 島建設課長

県は堤外地の立会はしない方針であり、昨年は「間違っていた」との解答であった。今後も事業が円滑に推進できるように県と協議していく。

固定資産の評価

見直しはいつ

問

地籍調査で面積が増減した場合の見直しは、いつの時点で行うのか。

答 松田税務課長

勝浦町全地域の地籍調査が完了した後に行う。

来年度予算は

どうなる

今年度以下に抑える

(参事)

問

町長改選期での来年度予算編成となるが、基本的な考えと見通しは。

答 戸川参事

各課からは年間総

合予算として予算要求してもらおう。三月議会でもこまめに対応できるかを考慮しながら、骨格予算として編成していく。

一般会計は財政状況が厳しいだけに、今年度以下には抑えたい。また、特別会計も含め、住民生活に直結するものについては十分配慮したい。

勇退する

川口町長

問

来年の抱負は述べられないと思うが、今年を振り返っての感想は。

答 町長

体調を崩し職責を全うできなかった事や、合併問題で住民に迷惑をかけたことを反省している。



▲昭和10年頃と現在の棚野前田・西久保地区

行財政改革推進プラン

町の活性化策が

ないので

川端雅夫 議員



答 戸川参事

新たな町づくりを

見過ごしているわけではない。情報基盤整備事業など、やらなければならぬ事業については今後も執行していきたい。

基金の活用は、議会にも相談しながら、地域の活性化に向け有効活用を図っていききたい。

問

行財政改革推進プランを見ると、歳出の削減ばかりに重点を置いている。自立計画は行革だけでは足りないはずだ。歳入増につなげる町の活性化策を盛り込むべきではなかったのか。

また、一億円ある「みずから考え、みずから実践する地域づくり基金」の活用を考えてはどうか。

◀ 職員の健康に配慮して設置されたエアークシャワー



横小プール補修工事 町の対応が 遅すぎる

問

横小プールで六月二十一日から七月一日までに八人の児童が負傷をしている。なぜ最初の事故の時プールを閉鎖し、すぐに調査、補修をしなかったのか。対応が遅すぎる。

答 秋成教育委員会事務局長

応急処置ができないか確認した結果、数週間あればできるとの返事があつた。その後、水漏れしてるとの報告があり今夏の修理は断念したが、今年度中に補修を行いたい。

ゴミ焼却場の過労働 健康管理は万全か

問

焼却日には朝六時すぎに出勤、炉の火を止めるのが夜九時半過ぎと聞いているが、現場職員の健康管理に問題はないのか。また、これだけの超過勤務が続くなら、臨時の対応もすべきではないか。

答 山平住民課長

炉が老朽

化し焼却をするのに、時間がかかるようになった。職員の健康管理については代休や臨時職員の対応もしている。また、勝浦病院で血液中のダイオキシンなどの検査も行っている。

CATV事業

利用料が大きな負担 契約方法のやり直しを

基本通り事業を進める（町長）

井出美智子 議員



問 インターネットを利用する世帯には、歓迎されているが、「テレビだけ見れたらいい」世帯には毎月の利用料が大きな負担となる。特に高齢者世帯は二千六百九十八円の利用料を払い続けるのは耐え難いと思う。

総務省は「ケーブルテレビだけ利用するという事例があっても、国が補助を打ち切ることはない」と言っている。

ケーブルテレビのみの加入が制度的に可能であれば「セットでなければならぬ」という契約方法をやり直さるのか。

答 助 役 当初は三千元の利用料が安くなり、住民説明会では困るといふ声はほとんど無かったと聞いている。
また、利用料に対して町費の補助をすることは難しいと考えている。

答 町 長

駆け込み的に事業をしてきたので弱者に対する配慮など煮詰まっていけないこともあるが、今まで説明してきた通り基本は崩さず事業を推進していきたい。

答 戸 川 参 事

光ファイバーを整備するのが目的の補助事業であり、インターネットとテレビのセット加入が原則である。

子供の安全対策は

通学路の安全点検を実施

（教育委員会事務局長）

問

下校中の少女をねらった凶悪事件が相次いでおり、緊急な対応が必要だ。子供にとって危険な場所を調べ、どうすれば安全になるのか環境改善の計画を作るべきでは。

答 秋成教育委員会事務局長

小中学校では、実際に通学路を歩いて危険箇所を点検しており、「子供一〇番の家」の見直しと合わせて再点検をする予定だ。各種団体にも協力をお願いするとともに、子供見回り隊のボランティアを募集する。



◀ 通学路の安全確保を

元気が一番

気が向いたら 好きな編み物も



谷 ヲタネさん（横瀬）
明治40年3月10日生（99歳）

- Q** ご家族は。
A 長男夫婦と孫四人です。
- Q** 長生きの秘けつは。
A 子供の頃からよく働いた事でしょう。子守りと馬の草刈りが毎日の仕事でした。
- Q** 最近の楽しみは。
A オレンジ畑やコスモスにお世話になり、皆様の顔を见せてもらうこと。

- Q** 毎日のように過ごしていますか。
A 寝ることが多くなりましたが、気が向いたららりハビリ体操をしたり、好きな編み物をしています。
- Q** 好きな食べ物は。
A お酢のごはん。
- Q** 小さい頃の遊びは。
A 椿の実のおはじき、どろめんこ、あやとり。



- Q** 今と昔で特に変わったと思うことは。
A 今の子供は勉強に追われてかわいそう。
- Q** 忘れられない思い出は。
A 戦争の事です。
- Q** 旅行の思い出は。
A 子供達に連れられ、たいていの所は見えてきました。テレビを見ると思い出します。
- Q** 今の人達や町に望む事は。
A 百歳の老婆には何も分りません。



▲ 50年前伊勢で

編集後記



明けましておめでとございませう。
近年地球温暖化が問題になってい
ますが、昨年末から今年にかけて未曾有
の大寒波、気候の移り変わりの厳しさ
には閉口させられます。
全国の豪雪地では今までに百余人も
の犠牲者も出ています。気象学の常識
として冬の寒い年は夏暑いと言われて
います。
このような環境のはざまに身をゆだ
ねなければならぬ人類の無力さに、
一抹の寂しさを感じます。
厳しい自然環境の中でもこの議会だ
よりが心安らぐ情報の発信基地となる
よう、頑張っていきたいと思ひますの
で本年もご愛読をよろしく願ひ致し
ます。
(栄)

